

弾道ミサイル等緊急事態の際 消防サイレンを鳴らします

昨年8月29日をはじめ数回にわたり、弾道ミサイルが北朝鮮から発射され、北海道上空を通過しました。

政府は、弾道ミサイルが発射された場合や同様の事態が確認された際、直ちに避難行動ができるよう、Jアラートや携帯メール等で住民皆さまにお伝えする体制をとっておりますが、沼田町では、屋外スピーカーなどが設置されていない農村部など、Jアラートや携帯メール等の届かない範囲の町民皆さまにも情報の周知徹底を図るため、3月1日より**共成・北竜・恵比島地区**の消防サイレンを吹鳴することといたしました。

他国から弾道ミサイルが発射された場合、落下するまでにわずかな時間しかありません。

もしもの時に、直ちに避難行動ができるよう、日頃から避難場所等のご確認をして下さい。

▼弾道ミサイルが発射された場合等

30秒吹鳴	6秒休止	30秒吹鳴	6秒休止	30秒吹鳴	6秒休止	30秒吹鳴	6秒休止	30秒吹鳴
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------

※サイレンは30秒吹鳴、6秒休止を5回繰り返します。

▼火災の場合（参考）

5秒吹鳴	6秒休止	5秒吹鳴	6秒休止	5秒吹鳴	6秒休止	5秒吹鳴	6秒休止	5秒吹鳴
------	------	------	------	------	------	------	------	------

サイレンやJアラートが鳴りましたら、テレビやラジオ等からの情報に注意し、落ち着いて以下の行動をとってください。

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html

— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます —



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

（注）できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。